



2023 SUPER FORMULA Rd.6
2023.07.15-16 FUJI SPEEDWAY

はじめに

シーズンの折り返しとなった菅生大会から一ヶ月のインターバルを経て、第6戦の富士大会を迎えました。富士スピードウェイは開幕戦の地であり、菅生大会後に合同テストが行われたことで理解がかなり深まっており自信を持ってレースウィークに臨むことができました。菅生では初めてシングルグリッドからスタートしましたがトラブル等で悔しい結果になったので今大会は必ず良い結果を持ち帰るという強い気持ちでした。

7月15日(土) フリープラクティス

公式練習では合同テストの結果を元に煮詰めたセットアップや整理してきた確認材料をどんどんと試していました。トラブルもなく、90分のセッションを最大限に活用することができましたし、開幕戦よりも確実にマシンセットが進んでいることを実感しました。ニュータイヤでのアタックはトラフィックの影響でタイムは悪かったですが、シーズン前半の経験から予選に向けて何をすべきかを理解できていたので、ネガティブな気持ちは全くない公式練習になりました。

7月15日(土) 予選

公式練習の結果から予選に向けたアジャストをドライビングとマシンの双方で行い予選アタックに臨みました。シーズンが進むにつれて、どんどん自分のドライビングを出させてきている実感があったのでこれまで一番自信を持って予選に挑むことができました。マシンは乗りやすく、走りもまとめ上げることができ、2番手とコンマ2秒以上離して1位でQ1を通過しました。初めてのQ1トップ通過は素直に嬉しかったです。

Q1の結果から、ポールポジションを獲得するという気持ちで出走したQ2はトラフィックの多い場所で走ることになりましたが、上手くスペースを作りアタックに入りました。ミスなくまとめることができましたし、セクター2では全体ベストタイムでしたがトップには届かず3位という結果でした。Q1のマシンバランスが良かったことでQ2に向けてはセットアップを維持する決定をしていましたが、これによってQ2では少しアンダーステアが強く出てしまいました。Q1からQ2に向けてのトラックエボリューションをまだ完全に把握できていないという経験の差が出てしまった形でしたが、今回でしっかりと確認ができたので次戦以降の糧にしたいと思っています。悔しい気持ちもありましたが、初のセカンドローを獲得できたことはひとまず良かったです。

7月16日(日) 決勝

安堵と悔しさの入り混じる結果となった予選を終え、決勝に向けてセットを煮詰めていました。テストでも決勝を見据えたマシンセットをしっかりと試していたので不安のない状態で日曜日を迎えることができました。2回目の公式練習と決勝前8分間の走行ではどちらもフィーリングがよく8分間の走行ではトップタイムだったのでグリッドにつく頃には自信を持った状態でした。しかし、スタート直後の1コーナーで位置取りに失敗し7番手までポジションを落としてしまい、そこから1台をパスし6番手でピットに入りました。ピット後もペースは良く、前の車にプレッシャーをかけ続けることはできたのですが結果的にオーバーテイクには至らず6位でレースを終了しました。レースペースを考えれば、スタートでポジションを守れていれば表彰台を狙えていたので悔しい結果になりました。

おわりに

今大会はこれまでの大会よりも上位でレースができたことで非常に収穫の多いレースになりました。ドライビングとマシンの両面で大きな進歩を感じることができましたし、何より予選アタックでは自信を取り戻す結果になり良かったと思っております。しかし同時にQ1からQ2への対応やスタートの上手さなど、まだ自分を成長させなければならない部分も浮き彫りとなりました。速いだけでは勝てないスーパーフォーミュラで結果を残すために、引き続き努力していきたいと思っております。

引き続きどうぞよろしくお願ひいたします。

**HONDA**

